

## 関西大学大学院文学研究科副専攻「EU-日本学」

### 「日本学フィールドワーク」特別講演会

関西大学大学院文学研究科副専攻「EU-日本学」の開講科目「日本学フィールドワーク」では、大阪府教育委員会で世界遺産担当をされている中西裕見子氏をお招きし、下記の要領で特別講演会を開催いたします。ご講演では、考古学遺跡と世界遺産についてお話しいただく予定です。本特別講演会は、公開講演会とします。多数のご来聴をお待ちしております。

**テーマ** : 「考古学遺跡と世界遺産登録」

**講師** : 中西 裕見子氏  
(大阪府府民文化部都市魅力創造局・教育委員会 (世界遺産担当)、  
関西大学非常勤講師)

**日時** : 2013年12月4日 (水) 18:00～19:30

**場所** : 尚文館507講義室

#### **講師プロフィール:**

イギリスのケンブリッジ大学大学院考古・人類学部で、博物館学と考古遺産活用の博士課程の単位取得。考古学と現代社会とのかかわりを中心に学ぶ。平成17年大阪府教育委員会に就職して5年間は発掘調査に従事、その後埋蔵文化財行政、世界遺産を担当。古墳時代終末期、群集墳、博物館学、文化遺産活用。2009年「終末期群集墳内における八角墳と大型八角墳の関係」『古代学研究』184号、2011年「博物館の社会的役割の推移」『関西大学博物館紀要』16など。